

1. 宮古観光創生研究会（岩手県宮古市）

～観光の担い手の創造と連携で三陸の暮らしを誇りに～

① 取組背景・地域課題

- 道路整備やフェリー就航など交通インフラの変革が起こっている一方で、ストロー現象に対応する具体的な策は見出せておらず、地域間の連携も円滑に行われていない。
- 観光のニーズは他律的から自律的へ、発地型から着地型へ変化し多様化している反面、多様な観光の担い手がまだまだ少なく、地域に暮らす人々の観光へのかかわり方も含め、変化が必要。また担い手を繋ぎ、安定的に提供する仕組みもない。

② 支援体制

コーディネーター
(支援事業者)

- ・ エイチタス株式会社
- ・ NECソリューションイノベータ株式会社

外部専門家
連携団体等

- ・ みやっこベース
- ・ イーリゾート 鈿持勝氏
- ・ 三陸DMOセンター北田耕嗣氏
- ・ ariTV株式会社 佐藤貴之氏

③ 本事業の目的と取組内容

地域で暮らす若者が、自らの創意工夫により、
宮古市内での着地型観光を生活やなりわいの一部として取り込むことで、
誇りと生きがいを持てる地域とする

取組① 地域向けの観光業学習の カリキュラムづくり

- ⚡ 地域の若者が観光業に関わるために必要な知識や考え方を習得できる学習カリキュラムを策定
 - ⚡ 元々観光を専門としない人も学べる仕組みとして想定し、現業への観光の取り込みや新たな活動や起業なども視野に入れた構成にて検討
- 専門家を交え、学習カリキュラムを開発
 - 既存施策との整合性確認・調整
 - [KPI] カリキュラムの策定（β版）

取組② 若い年代を対象とした 学習サイクルの確立

- ⚡ **（共創イベント）若者が観光業を学び、創意工夫でコンテンツ開発を行える学びと実践の場を考案**
 - ⚡ 市内学生も対象とし、地域での人材育成としてのモデルを考案
 - ⚡ 大型客船寄港を契機する実践の場づくり
- 継続可能な学習（座学ワーク・実践の場）の仕組みづくり
 - 市内学生の参加機会の創出
 - アイデアの実践とフィードバック
 - [KPI] 共創イベントの参加者（25名）
 - [KPI] 観光創生塾開催（2回以上）
 - [KPI] 観光創生塾成果発表会開催（1回）

取組③ 広域連携による 着地型観光のモデルづくり

- ⚡ 気仙沼までを視野に入れた三陸の広域連携のあり方を検討
 - ⚡ 宮古～室蘭便のフェリー就航に伴う室蘭との連携のあり方を検討
- 広域での情報・意見交換や連携模索のための交流機会の創出および継続
 - [KPI] 三陸広域での観光関係者の意見交換会開催（1回以上）